

今後の取組予定について

土器川大規模氾濫に関する減災協議会

令和2年度の重点的な取組(案)

①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進

- ・令和元年度の「意見交換会」を踏まえた2か年プロジェクトの推進

②要配慮者施設の避難確保計画、訓練の推進

- ・対象施設の避難確保計画作成率、訓練実施率の向上

③多機関連携型タイムラインの作成推進

- ・金倉川と大東川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表を反映し、香川県と連携して検討

A)「枠組み(組織、場)づくり」

◆ ネットワーク組織の構築

「(仮称)中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」の設立

- ・事務局: 地域行政(香川県、丸亀市、まんのう町など)
- ・主幹メンバー: 香川県、丸亀市、まんのう町、香川県防災士会中讃支部、香川大学(四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)、香川河川国道事務所
- ・協力メンバー: 地域防災関連組織、社会福祉関連組織、まちづくり推進組織、NPO団体、ライフライン事業者、民間企業、研究機関(徳島大学: 人と地域創生センター)など
- ・活動内容: 交流の場の常設、SNSグループ、シンポジウム開催、地域イベント参加、行動メニューの推進など

◆ 交流の場の設置

「(仮称)中讃地域防災みらいセンター」の開設

- ・事務局: 香川河川国道事務所、地域行政など
- ・活動内容: 楽しい交流会、リーダー研修会、防災訓練・イベント企画など

B)「人材育成」

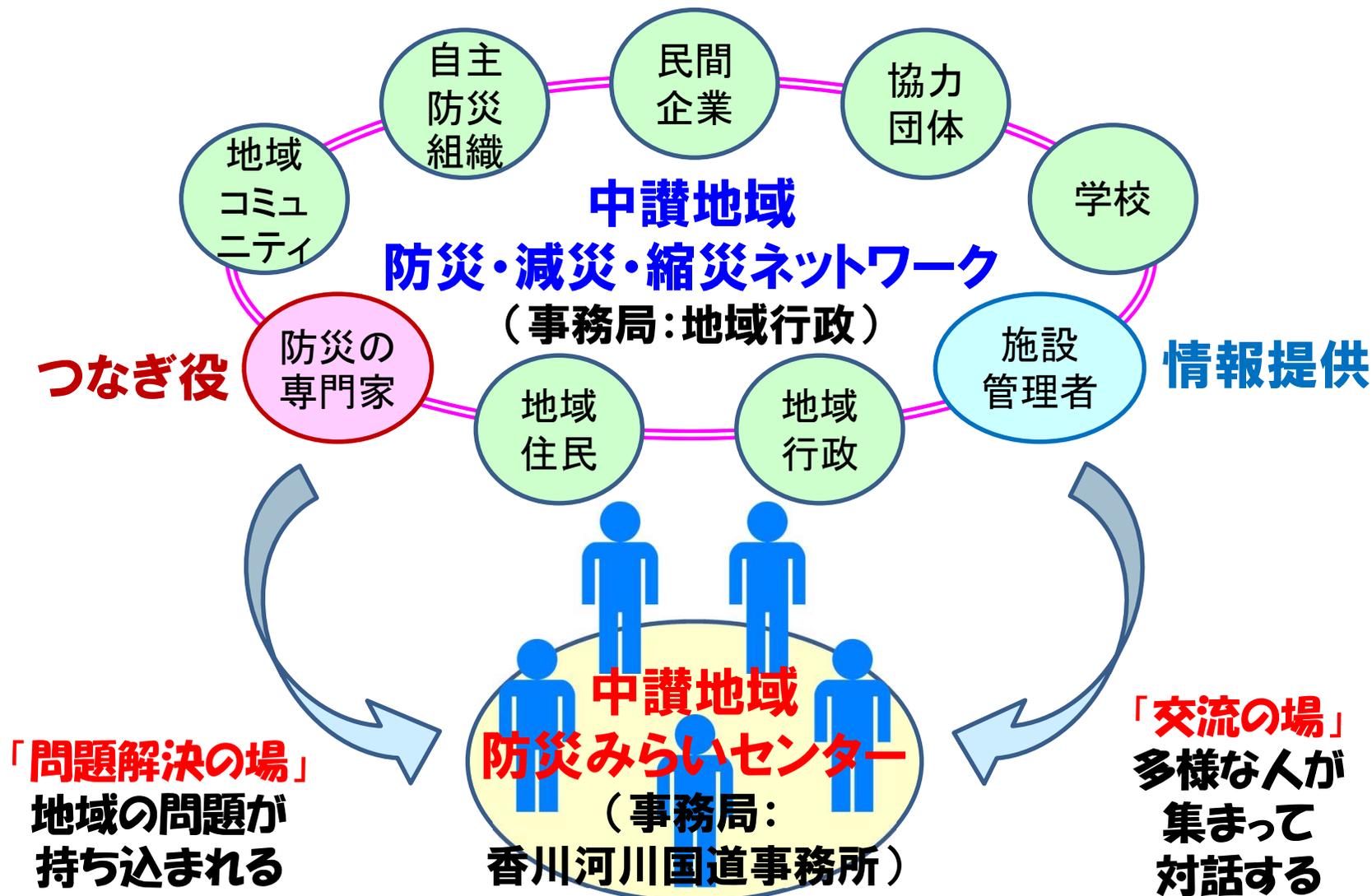
◆ 地域防災リーダーの育成(みつける、そだてる、つなげる)

C)「地域連携」

◆ 多種多様な組織との連携(つながる、うごく、つづける)

枠組み(組織、場)のイメージ

当面スケジュール	令和2年度	令和3年度
2ヶ年プロジェクト	ネットワーク組織設立、活動開始 (減災対策協議会で承認)	活動の継続および 行動メニューと範囲の拡大



行動メニューの目的(案) (令和元年度意見交換会より)

【人材育成】目的(案)

B 地域防災リーダーが育成されている

B1 地域防災リーダーがみ
つかるようになる

B1-1 地域防災リーダーを創出するシステムが整備されている

行政 2

B1-2 他分野のリーダーを活用できるようになる

B1-3 専門分野の人材データベースが整備されている

B2 地域防災リーダーがそ
だっている

B2-1 防災活動の支援制度が整備されている

B2-2 地域防災リーダーの研修会が開催されている

防災士 4

B2-3 地域防災リーダー認定制度が整備されている

B2-4 行政職員が防災教育プログラムに参加している

行政 4

大学 4

B2-5 女性の活躍が多くなる

防災士 5

大学 2

B3 地域防災リーダーの世代
がつながっている

B3-1 子供や若者の防災学習の場や機会が多くなる

行政 4

防災士 5

大学 3

B3-2 子どもの防災リーダーが育成されている

大学 4

B3-3 防災に関する生涯学習の場や機会が多くなる

行政 4

行政 防災士 大学

: 優先的に実施すべき行動メニュー
(各グループで選択)

数字: 各グループの参加者選択数

【地域連携】目的(案)

C 防災に関連した地域連携が十分にできている

C1
防災に関連した**交流活動**が多くなる

C1-1 防災・歴史の勉強会の場や機会が多くなる

防災士 4

C1-2 広域的な交流会の場や機会が多くなる

C1-3 防災活動を目的の一つとした集いの場ができている

C1-4 既存イベントとの連携ができている

C2
防災に関連した**地域協働**の取組が多くなる

C2-1 連携コーディネーターが育成されている

C2-2 要配慮者情報のデータベースが共有されている

行政 5

C2-3 自治会活動が多くなる

C2-4 世代を超えた防災学習レクリエーションの場や機会が多くなる

行政 3

大学 2

C2-5 学校との連携による防災学習の場や機会が多くなる

C2-6 体験型の防災訓練の場や機会が多くなる

行政 4

防災士 6

大学 4

C3
防災に関連した**行政支援**が多くなる

C3-1 広域のICS(総合調整システム)がある

C3-2 行政の防災意識が高くなる

大学 4

C3-3 防災に関連した広報が多くなる

C4
地区防災計画が策定されている

C4-1 地区防災計画の取組が推進されている

行政 2

防災士 7

大学 1

行政 防災士 大学

: 優先的に実施すべき行動メニュー (各グループで選択)

数字: 各グループの参加者選択数

②要配慮者利用施設の避難確保計画、訓練の推進

- 引き続き、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と訓練の実施を推進する。

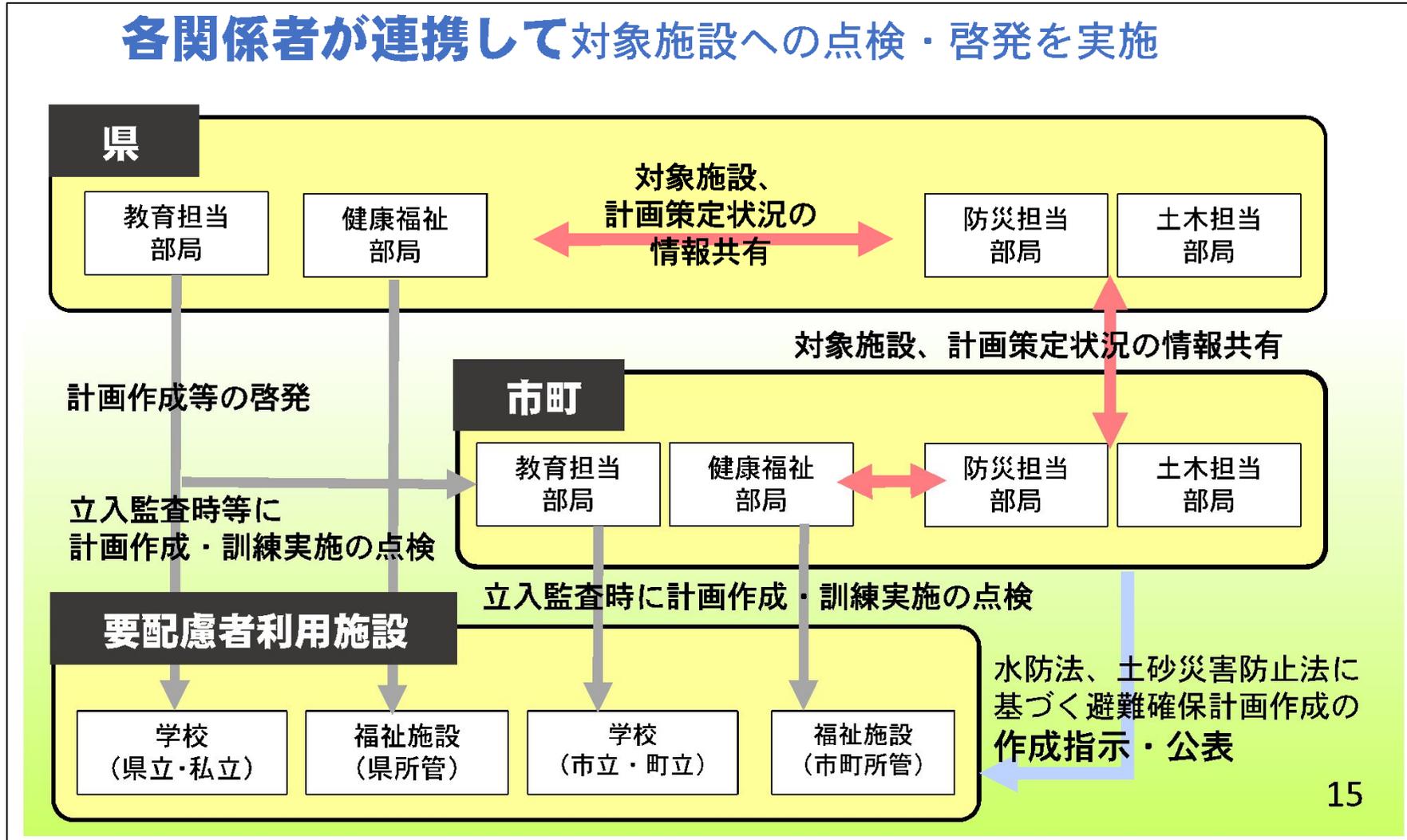
要配慮者利用施設一覧表(平成31年3月末時点)
(土器川における想定最大規模での浸水が生じる施設を対象)

市町	対象施設数	避難確保計画 作成済み	避難確保計画に 基づく訓練の実施
丸亀市	50施設	35施設 (70%)	27施設 (54%)
善通寺市	1施設	1施設 (100%)	0施設 (0%)
宇多津町	28施設	21施設 (75%)	6施設 (21%)
琴平町	4施設	2施設 (50%)	2施設 (50%)
多度津町	2施設	1施設 (50%)	1施設 (50%)
まんのう町	12施設	11施設 (92%)	8施設 (67%)

出典:「【調査票2-2】要配慮者利用施設の自衛水防(施設リスト) 香川県 平成31年3月末時点」

要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進のための取り組み(香川県)

各関係者が連携して対象施設への点検・啓発を実施



出典:「第2回 香川県大規模氾濫等減災協議会 資料-1 令和元年6月10日」

③多機関連携型タイムラインの作成推進

- 金倉川及び大東川の想定最大規模降雨による洪水浸水区域図の公表を反映し、中讃地域の単位で、香川県と連携して、多機関連携型タイムラインの作成を推進する。

水害対応タイムライン

避難勧告着目型タイムライン

市町村長による避難勧告等の発令に着目して、河川管理者と市町村等が協力して作成・運用する。

多機関連携型タイムライン

迅速かつ効率的な防災行動の実施を目指し、河川管理者、市町村、气象台等に加え、**様々な関係者**による多様な防災行動を対象として、多くの関係機関が連携して作成・運用する。

- 既往の避難勧告着目型タイムライン（平成29年2月作成）

市町	対象河川
丸亀市	土器川
坂出市	大東川(土器川の情報追加)
善通寺市	金倉川(土器川の情報追加)
宇多津町	土器川 、大東川
琴平町	土器川 、金倉川
多度津町	金倉川(土器川の情報追加)
まんのう町	土器川

- 平成30年度検討の「丸亀市版(案)」を参考に、香川県と連携して検討する。

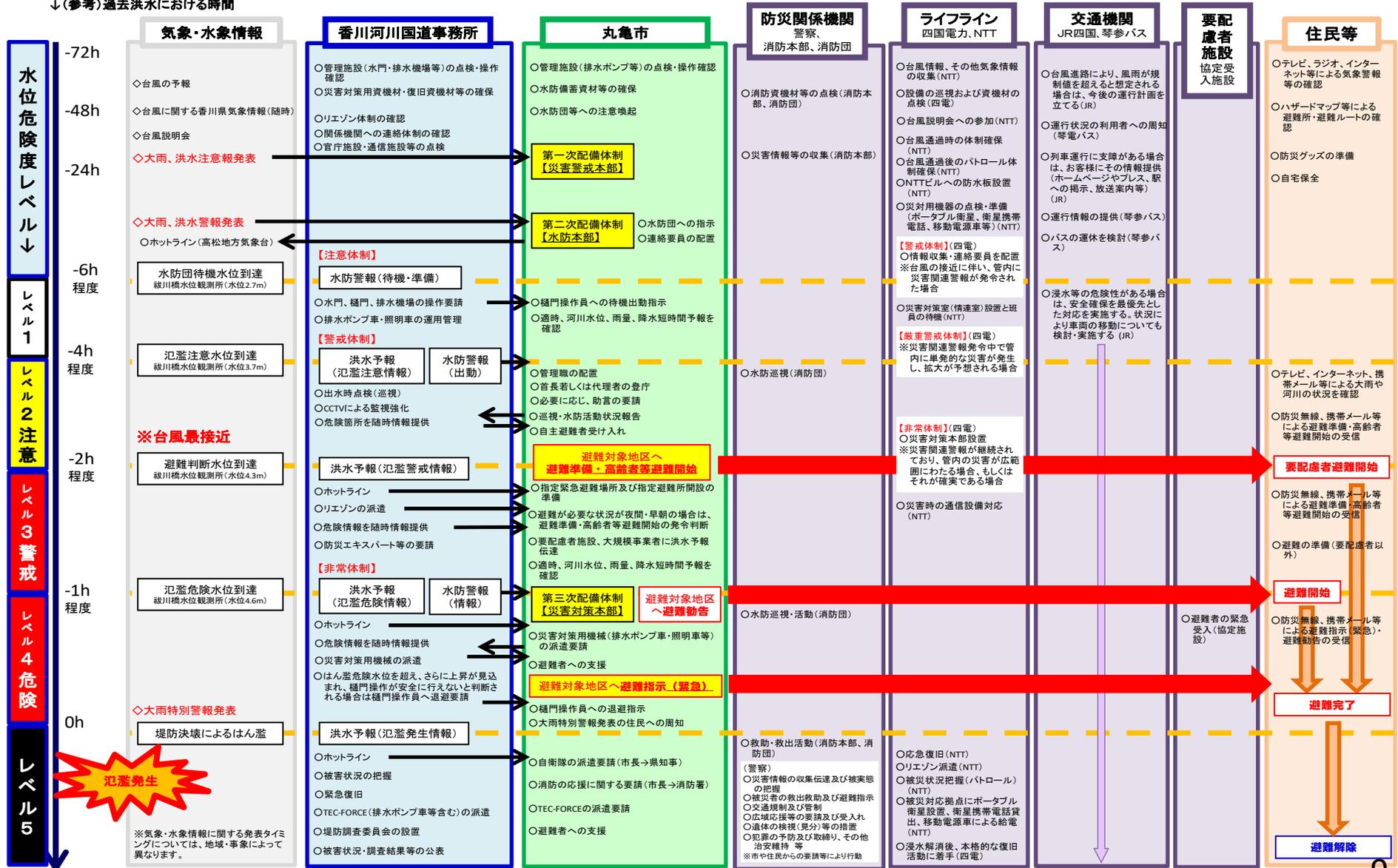
対象となる関係機関(案)

機関名	対象となる関係機関
防災関係機関	警察、消防本部、消防団、 自衛隊
ライフライン	四国電力、NTT、 四国ガス
交通機関	JR四国、琴参バス、 琴平電鉄
要配慮者施設	協定受入施設
報道機関	テレビ放送局、ラジオ放送局

※赤字:「丸亀市版(案)」では対象外

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、土器川直轄河川管理区間沿川における丸亀市の様々な関係者による多様な防災行動を対象とした多機関連携型タイムライン(案)

↓(参考)過去洪水における時間



今後のスケジュール及びフォローアップ

- 各機関の取組内容については、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画、河川整備計画等に反映するなど責任を明確にし、**組織的、計画的、継続的に取り組む**ことが重要である。
- 原則、本協議会を毎年開催し、取組の進捗状況を共有し、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図るなど、**継続的なフォローアップ**を行うこととする。
- また、**各構成機関が連携して取り組む必要がある課題は「水害に強いまちづくり検討会（減災対策協議会 幹事会）」において検討**を行い、必要に応じて取組方針に住民意見を反映する。
- なお、本協議会は、他地域の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集した上で、**随時、取組方針を見直す**こととする。

